

【お知らせ】



2013年8月6日

一般社団法人インターネットコンテンツセーフティ協会

新たに3社のプロバイダがICSAの会員として参加

児童ポルノ画像へのアクセスを強制的に遮断するブロッキングなど、インターネット上の児童ポルノの流通防止を目的とした取り組み※を、2011年4月21日より当協会に参加のプロバイダや検索サービス事業者、フィルタリングサービス事業者が実施しておりますが、このたび別紙のとおり新たに3社のプロバイダが当協会の会員として参加しました。

各プロバイダにおいては、準備が整い次第、児童ポルノ画像が掲載されたサイトのブロッキングを開始する予定で、適宜、当協会のホームページで公表させていただく予定です。なお、今回の参加により、当協会に参加しているプロバイダは86社となっております。当協会として、引き続き適切なアドレスリストの提供を進めるとともに、取り組みに関する周知活動に努めながら、社会的な使命を果たして行きたいと存じます。

※現在実施が予定されている、児童ポルノのインターネット上での流通防止のための具体措置としては、

- 1)プロバイダーが実施する、特定サイトへのアクセスを強制的に遮断する「ブロッキング」の他、
 - 2)検索サービス事業者が実施する、特定サイトの「検索結果非表示」、
 - 3)フィルタリングサービス事業者が実施する、特定サイトへの「フィルタリングによるアクセス制限」を可能にすること、
- が挙げられます。

別紙： 新たにICSAに入会した事業者について

2013年8月6日追加分(3社)

株式会社大塚商会

共立コンピューターサービス株式会社

山口ケーブルビジョン株式会社

以上